

“第22回工学部・工学系研究科技術発表会”を終えて



第22回技術発表会実行委員長 江口星雄（原子力国際専攻）

第22回工学部・工学系研究科技術発表会を9月28日（金）に開催致しました。

笠木伸英先生（機械工学専攻教授）の特別講演「新世紀の工学と人材育成：そのビジョンと倫理」をはじめ、口頭発表が14件、ポスター発表・作品展示で9件の発表が行われ、107名（工学系研究科技術職員63名、学内者29名、学外者15名）の方々に御参加頂き、活発な質疑応答等が行われ有意義な発表会となりました。

各賞の選考は、影山技術部長、実行委員の他に5名の方に審査員をお願いして、発表会の前に“技術報告”の書き方に関してと、“当日の発表”に対する審査を行い合計得点により、研究科長賞を機械工学専攻・渡辺誠氏「垂直配向単層カーボンナノチューブ膜面上への金属蒸着と金属面への接合」、技術部長賞を環境海洋工学専攻・榎本昌一氏「VPNを用いたネットワークについて」、ポスター賞を原子力国際専攻・伊藤誠二氏「三四郎池底質の元素分析（PIXE法）から環境問題を考えるー加速器管理部 技術職員のとりくみー」の3名が受賞されました。

研究科長にはご多忙にも関わらず、発表会開催に先立ち“技術発表会への期待”と言うお言葉を頂くと共に研究科長賞の授与および懇親会にもご出席頂きました。

兼ねてからの懸案事項である全員発表・全員出席にはおおよびませんし、運営上の不備等も有りましたが、発表者・出席者のご協力のお陰で無事終了し、実行委員一同肩の荷がおりました。

今後、より充実した技術発表会が行われる様に、今年度の反省点を次期実行委員に申し送り致します。